

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）の事後評価について

都道府県名	茨城県	事業実施主体	小美玉市	地域再生計画名	「水とふれあう 快適生活」 計画
計画期間	平成20年度～平成24年度	事業期間	平成20年度～平成24年度	評価責任者	小美玉市 市長公室長 長谷川 進

	指標		基準値		目標値		実績値			達成状況に関する評価
				基準年度		基準年度	基準年度	評価		
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1	污水処理人口普及率を33.1%から46.0%に向上させる。	33.1%	H20	46.0%	H24	47.9%	H24	○	污水処理施設整備交付金の活用により、一体的な污水処理施設の整備が図られ、浄化槽の整備基数は達成できなかったものの処理人口は目標値を達成した。
	指標 2	米の基準収量を481kg/10aから499kg/10aへ3.8%の増加を図る。	481kg	H20	499kg	H24	525kg	H24	○	一体的に污水処理を進めることにより、農業用水路等へ垂流されていた生活雑排水が減少し、農業被害が軽減し米の収穫高を高めることができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況	指標 1	放流水の水質確保を図り霞ヶ浦の浄化に努める（T-P値）			1mg/L以下	H24	0.89mg/L	H24	○	污水処理施設の整備により、霞ヶ浦のT-P値が上昇する中、計画水質以下に抑制することにより霞ヶ浦の浄化を図った。

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）		目標の達成に対する評価及び今後の対応
		計画	実績	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長）	5,250m	5,720m	基本計画時には、非補助としていた箇所が、実施設計時に補助対象へと変更となった事により整備路線が延伸し完了する。污水処理人口普及率が向上し、霞ヶ浦周辺河川への汚水の流入を減少させた。今後は事業計画で未整備となっている10,220mを整備し更なる水質改善と農業振興を図りたい。
	農業集落排水事業（整備延長、処理場）	8,380m 1施設	9,179m 1施設	農村環境の改善が図られ、巴川に流入する汚水が減少し農業被害が軽減された。巴中部Ⅰ期地区が完了し、処理施設が供用化されることにより、普及率の向上が見込まれる。また、効率的な整備のため完成した処理施設へⅡ期地区9,179mの管路延伸を図り、農村環境整備と農業振興を進めたい。
	市設置型浄化槽整備事業（整備基数）	146基	137基	目標の146基を設置数は減少したが、処理人口518人を達成し、市全体の普及率向上に寄与した。県の設置数が減少傾向にある中、広報等を充実させ応募者を募り設置数を延ばすことができた。今後はさらに広報活動を充実させ毎年28基の整備を進めたい。
その他の事業	地域コミュニティによる河川清掃活動の実施	コミュニティ団体による年2回（3月・10月）市内全域の河川敷の清掃を実施。		団体主体による清掃活動により、毎年2回継続的な実施が図られた。河川のごみ拾い等を通し、参加者が水の汚れを感じることで生活排水の浄化に関心を持つことができた。今後とも水環境改善に向けた意識の高い参加者の増加を図りたい。
	市民交流事業の実施	住民主体による浄化運動の促進を図る。		霞ヶ浦に流入する流域単位の住民団体による水質調査や地域の自然・歴史などを学ぶことにより水環境の重要性を深く認識し、また交流事業により住民相互のきずなづくりが図られた。今後とも継続して実施を図りたい。
	小学生を対象とした処理施設の見学会の実施	処理施設を見学することで、水をきれいにすることへの関心を高める。		震災後、安全対策の問題から、市内処理施設での実施は出来なかった。安全対策等を図り、小学校の授業としての実施を進めたい。また、今後は集落単位で父兄同伴参加による実施を図りたい。
計画外で独自に実施した事業	下水道いろいろコンクールへの参加。	下水道事業への理解を深めるため、「ポスター・作文・書道・標語」コンクールへ参加した。		市内小中学校からポスター37点・作文18点・書道556点・標語168点の応募があり、3人が入賞した。各学校へのコンクールへの参加周知を速やかに行い、参加者が課題へ取り組み時間を長く設けることにより、下水道への理解をより深めることができた。今後とも同様に実施を図りたい。

④計画全体の総合評価	<p>污水処理施設整備交付金を活用した一体的・効率的な整備を図り、公共下水道事業・農業集落排水事業においては計画通りの整備を行うことにより、污水処理人口普及率47.9%と計画を上回ることができたが市設置型浄化槽の設置基数は目標を下回った。污水処理人口普及率は平成18年度23.6%あった県全体普及率の差が16.7%となり6.9ポイントの改善が図られた。</p> <p>処理施設の完成により農業用水路等へ垂流されていた生活雑排水が減少し、農村環境の改善が図られるとともに、農業被害が軽減し米の収穫高を高めることができた。また、一体的に污水処理を進めることにより、水質確保を図り霞ヶ浦の浄化に努めることができた。</p>
------------	--